

静間小だより

～気づき 考え みんなで創り出す～ 令和6年 10月号

「気づき 考え みんなで創り出す」⑥ 「巻き起こせ 静間せん風 心を一つに全力で！」



9月28日(土)に運動会がありました。

運動会に向けて子どもたちは、全校みんなでつながり合って、学年種目や開閉会式、応援合戦の練習をしてきました。

取組の中で子どもたちの素敵な姿がたくさん見られました。「本気」の姿です。

- 6年生の下級生へのかかわり方
- 応援練習の積み上げの中で変化していく6年生のアイデア
- 6年生の言葉に耳を傾け、一生懸命応援練習に向かっている下級生の姿
- 色別会で何度も粘り強く応援練習をくり返す子どもたちの姿
- 暑い中でもたくましく練習に向かっている子どもたちの姿
- 自分の役割を果たそうと努力している姿

練習の中での「気づき」から新たな目標を立て、チームのみんな・学級のみんなで「考え」、よりよい運動会を「みんなで創り出す」姿をうれしく思います。「巻き起こせ 静間せん風 心を一つに全力で！」という運動会スローガンに込められたみんなの思いを実現するための一つ一つの取組は、今後の学校生活を支える大きな経験になったと思います。

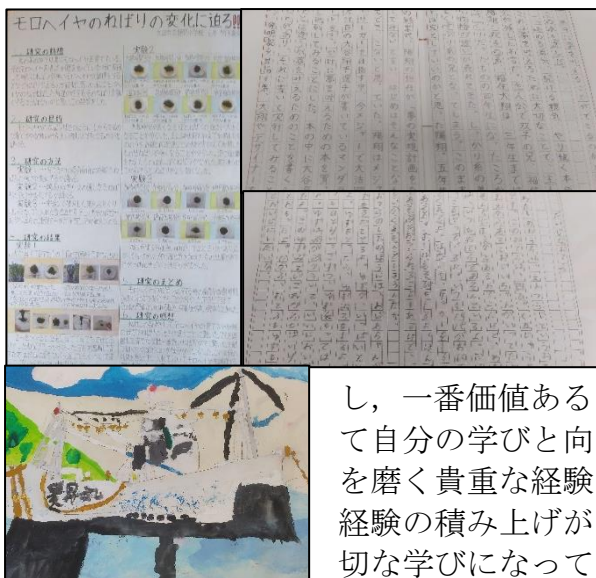
そして、子どもたちの頑張りや意欲、成長を促していくことができる本校の職員のことも、私にとって大きな誇りです。厳しさと共感の調和を大切にしながら子どもたちへの指導ができる職員です。

子どもたちと職員が協働して、ともに創り上げた運動会でした。

保護者の皆様、地域の皆様には、大きなご声援をいただきました。子どもたちに元気を与えてくださいました。うれしさいっぱいの気持ちで運動会に参加することができたと思います。静間小学校では、今後も多くの教育活動を行っていきます。変わらぬご理解・ご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



文化の秋～子どもたちはがんばっています～



秋は「文化の秋」とも言いますね。子どもたちは多くの文化的な学習をしています。図画作品づくりや作文づくりを通して、その技能だけではなく、「想像する心」、「粘り強さ」など、情緒を磨くことができます。子どもたちの作品は各種コンクールや審査会に出品しています。当然、審査会に出品すると研究物として評価をされ、賞がつけます。しかし、一番価値あることは賞ではないと思います。長時間かけて自分の学びと向き合ってきた経験が、好奇心や思考、表現を磨く貴重な経験になっていくと考えます。また、こうした経験の積み上げが、今後の子どもたちの学びを支えていく大切な学びになっていくと思います。

学校保健委員会～睡眠の質を高めよう～



9月12日(木)、睡眠の研究で知られる広島大学の田村典久先生をお迎えして、学校保健委員会を行いました。

「早く寝なさい」「寝ないと元気が出ないよ」と、私もよく親に言われていました。確かによく眠れた日は、元気に過ごせる実感が感覚としてありました。その感覚的なとらえを科学的なとらえに変えていく機会を田村先生からはいただいたように

思います。

昨年度から何度か田村先生のお話をうかがっています。お話をうかがい、私もくらしの中に2つの変化をつけてみました。1つが「寝る前に動画を見ない」、もう1つが「起床後すぐに日を浴びる」ことです。この2つだけでも何かがなんとなく変わった実感があります。しかし、今思うところはやっぱり「心の状態を安定させること」が何よりも大事なことだと思っています。「睡眠がよくなればパフォーマンス性が上がる」、それは「毎日のくらしを豊か」にしていきます。くらしが安定し、豊かになれば、「心が安定」していきます。「心が安定」すれば、睡眠の質も良くなっていきます。この好循環を創り出していくことが大切だと思います。そのきっかけとなる教を田村先生からは教えていただいたと思っています。ぜひみなさん、自分の眠りを振り返っていただき、できるところから実生活につなげてみてください。「睡眠は大事」、これは、これまでも、これからも変わることのない我々の中にある普遍の原理原則です。

田村先生、誠にありがとうございました。また、PTA 研修広報部、保健体育部の皆さんありがとうございました。

